

# 解体マニュアル

SSH00013



穴掘建柱車架装部

株式会社 アイチ コーポレーション

目 次

1. はじめに	.....	1
2. 車両各部の名称	.....	1
3. 注意事項	.....	2
4. 解体手順	.....	2
5. 終わりに	.....	3
6. お問い合わせ窓口	.....	3

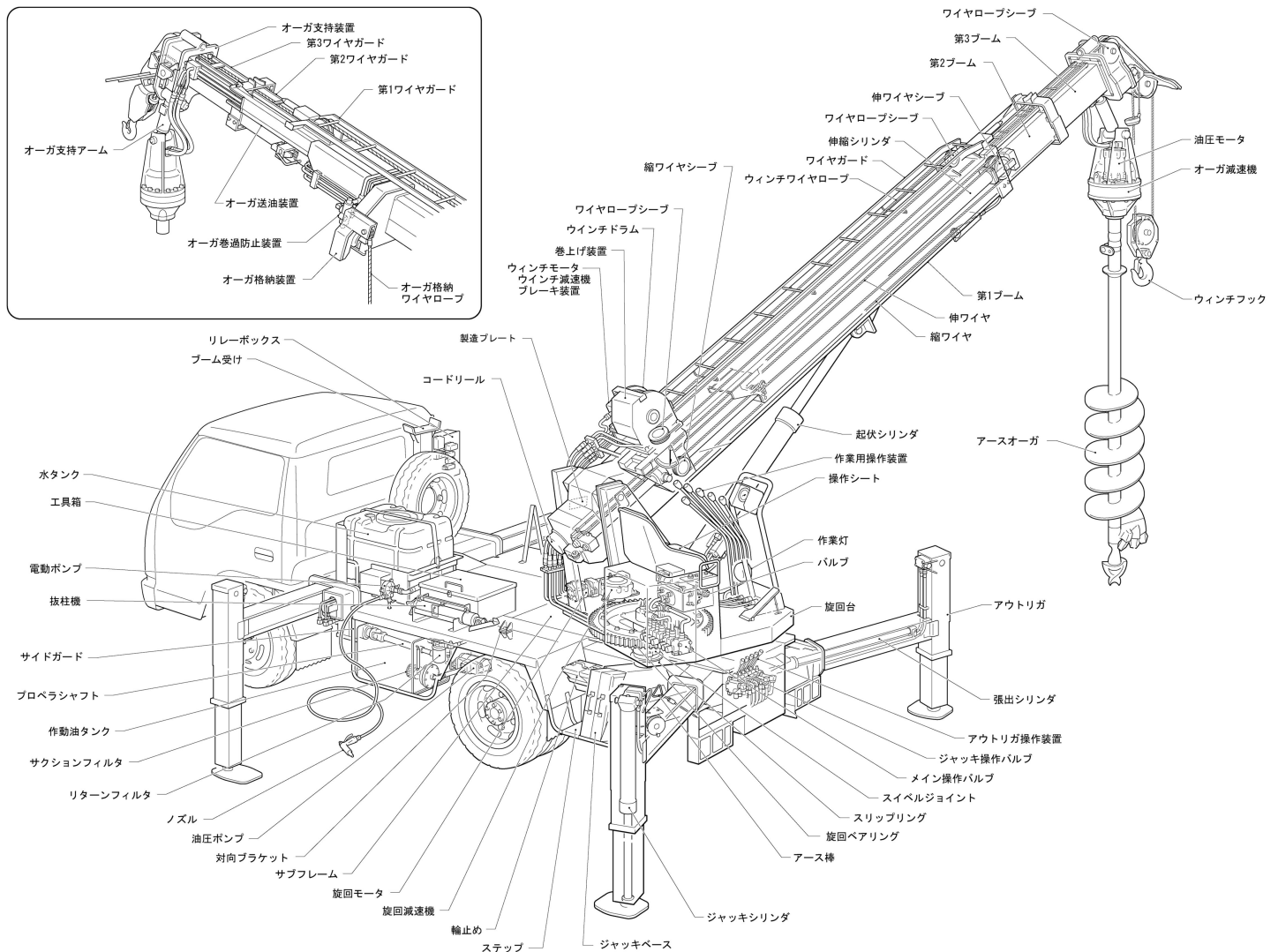
## 1. はじめに

本解体マニュアルは解体した架装物が、資源として効率的に有効活用が行えるよう情報提供するものです。記載内容は穴掘建柱車の一般的な解体例を示し、掲載されている形状と実物は異なる場合があります。

この解体マニュアルは解体業者が安全に解体するための参考例です。解体作業に当たっては、(一社)日本自動車車体工業会のホームページ(URL : <https://www.jabia.or.jp/>)に掲載されている「解体マニュアル(車体工業会共通版)」を参考に、解体場所、設備及び用具等に注意し、安全作業及び環境保全に留意し、関係法令を遵守して解体を行って下さい。

尚、本解体マニュアルにて解体作業を実施された際に、お客様または第三者に損害が生じた場合、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承下さい。

## 2. 車両各部の名称



### 3. 注意事項

#### 3-1. 作業上の注意

- 1) 作業を安全に行うため、定められた作業服、作業帽、安全靴を着用し、作業内容に応じて保護メガネ、耳栓、防塵マスク等の保護具を着用して下さい。
- 2) 高所作業については、墜落制止用器具、足場の確保等転落防止処置を講じて下さい。
- 3) 燃料系および作動油等の除去・回収に当たっては消防法を順守し、引火・爆発が発生しない環境下及び方法で行って下さい。
- 4) 油脂・液剤系の回収に当たっては、地下浸透や施設外流出が発生しない環境下及び方法で行って下さい。
- 5) タンク等の解体時は事前に有害物質等の除去・洗浄が完全に行われていることを確認し、安全を確保した上で作業して下さい。
- 6) 解体する際は、ジャッキを軽く地面に接地させ、ブームを格納した状態にしてから作業を行って下さい。
- 7) 油圧機器の油圧配管・ホースを取り外す際は、作動油が垂れないように受け皿で受けて下さい。  
作動油量は車両の大きさによっても異なりますが、機種クラスを目安にした場合の油量は以下の通りです。各抜き取りはそれぞれにドレンプラグがありますので緩めて行って下さい。

機種	作動油タンク 作動油量	全体 作動油量	ウインチ減速機 オイル量	オーガ減速機 オイル量	旋回減速機 オイル量
D50クラス	約75ℓ	約125ℓ	約1ℓ	約5ℓ	約1ℓ
D70クラス	約90ℓ	約160ℓ	約1ℓ	約5ℓ	約2ℓ
D90クラス	約90ℓ	約160ℓ	約2ℓ	約5ℓ	約2ℓ

- 8) 油圧部品・配管等を外す場合、場所によっては高圧の作動油が閉じ込められている場合がありますので、取外しの際には十分注意して作業を行って下さい。
- 9) 各部の部品を外す際は、必ずクレーン等で外す部品を支え、安全に留意して行って下さい。  
なお、ブーム・フレーム等の大型部材については事前に重量等をお問い合わせ下さい。

#### 3-2. 事前選別対象物

主に解体業者が行う事前選別とは使用済み架装物等に含まれる有害物質及び埋め立てが禁止されている部品・材料等、並びにそれらを含む部品を破碎処理する前工程で選別し、適正に保管、処分する作業を言います。事前選別対象物は車体工業会ホームページを参照して下さい。

#### 3-3. 環境負荷物質の取り扱い

環境負荷物質を含む部品等については、確実に分離し適正な処理に努めて下さい。  
環境負荷物質使用部品事例は車体工業会ホームページを参照して下さい。

### 4. 解体手順

- 1) 工具箱、ステップ及び水タンク等の主要な外装部品を取り外します。
- 2) 作動油タンクのドレンプラグから作動油を抜き取ります。  
注. 作動油は可燃物です。火気に注意して下さい。
- 3) オーガスクリュを取り外します。
- 4) オーガ減速機のモータに接続されているホース外し、オーガ減速機を取り外します。
- 5) ウインチフックとウインチワイヤをウインチドラムから切り離します。
- 6) 旋回台左側面からブーム・オーガ・ウインチへ接続されているホース・配管類の接続を切り離します。

- 7) ブーム後端のブームと旋回台を固定しているピンと起伏シリンダのブーム側のピンを抜いてブームを取り外します。
- 8) ブーム後端と先端のワイヤ取り付け部を切り離します。
- 9) 伸縮シリンダの第1ブーム側の取り付けピンを抜きます。
- 10) 第1ブーム先端部側面・下面・上面のスライダを取り外します。
- 11) 第2ブームと第3ブームを同時に第1ブームから取り外します。
- 12) 伸縮シリンダの第2ブーム側の取り付けピンを抜き伸縮シリンダをブーム内から抜きます。
- 13) 起伏シリンダのホースを切り離し旋回台に固定している起伏シリンダのピンを抜き起伏シリンダを取り外します。
- 14) ブーム先端部側面・下面・上面のスライダを取り外し第2ブームより第3ブームを抜きブームを切り離します。
- 15) 旋回台左側面旋回減速機モータを取り外します。
- 16) スイベルジョイントに接続されているホース・配管類を外しスイベルジョイントを取り外します。
- 17) 操作席カバーを取り外し操作バルブ配管・配線類を切り離します。
- 18) 操作バルブと操作レバーリンクを切り離し操作バルブ取り外します。
- 19) 旋回台取付ボルトを外して旋回台を取り外します。
- 20) ジャッキシリンダに接続されているホースを切り離し取付ピンを抜きジャッキシリンダを取り外します。
- 21) ジャッキ操作バルブを取り外します。
- 22) 作動油タンクから油圧ポンプに接続されているホースを切り離し作動油タンクを取り外します。
- 23) サブフレームに引廻しされているホース・配管・配線類を切り離しサブフレームとシャーシフレームを締結しているボルトを取り外します。
- 24) シャーシフレームからサブフレームを取り外します。
- 25) 油圧ポンプとドライブシャフトをシャーシフレームより取り外します。
- 26) 以上で架装物の大まかな解体は終了です。  
解体した油圧部品内部に残留している油脂類を全て抜き、適正な処理を行って下さい。

## 5. 終わりに

本解体マニュアルでは穴掘建柱車の小型トラック架装車を基本に、解体手順の概要について記載してあります。詳細についてお知りになりたい場合は、車両の製造プレートに記載されています、製品型式(架装型式)及び製造番号をご確認の上、お問い合わせ窓口にお問い合わせ下さい。

## 6. お問い合わせ窓口

(株)アイチコーポレーション  
ライフサイクルサポート部 企画統括推進課  
TEL: 048-781-3715

以上

<参考資料>

穴掘建柱車の主要使用材料は、下記のとおりです。

解体の際には金属類、樹脂、ゴム及び配線等に分別処理して下さい。

穴掘建柱車主要使用材料（100グラム以上を表示）

No	主要名称	部品	材料1	材料2	材料3	材料4	備考
1	ブーム	第1ブーム	鉄				
		第2ブーム	鉄				
		第3ブーム	鉄				
		伸縮シリンダ	鉄	樹脂	ゴム		
		伸縮ワイヤロープ	鉄				
		ワイヤシーブ	鉄	樹脂			注1
2	ウインチ装置	ウインチモータ	鉄	樹脂	ゴム		
		ウインチドラム	鉄				
		ウインチワイヤロープ	鉄				
		ウインチフック	鉄				
3	オーガ装置	オーガモータ、減速機	鉄	樹脂	ゴム		注2
		アースオーガ	鉄				
4	操作装置	操作レバー	鉄	樹脂			
		操作シート	鉄	樹脂	ゴム		
5	旋回台	本体	鉄				
		起伏シリンダ	鉄	樹脂	ゴム	銅合金	
		バルブ	鉄	樹脂	ゴム		
		旋回ベアリング	鉄	樹脂	ゴム		
		スィベルジョイント	鉄	ゴム			
6	サブフレーム	本体	鉄				
7	アウトリガ	本体	鉄				
		張出シリンダ	鉄	樹脂	ゴム		
		ジャッキシリンダ	鉄	樹脂	ゴム		
8	ブーム受け	本体	鉄				
9	その他油圧系	油圧ポンプ	鉄	アルミ	樹脂	ゴム	
		旋回減速機	鉄	銅合金	樹脂	ゴム	注2
		旋回モータ	鉄	アルミ	樹脂	ゴム	
		油圧ホース	鉄	布入りゴム	ワイヤ入りゴム	又は樹脂	
		ホース継ぎ手	鉄	ゴム			
		油圧配管	鉄				
		配管継ぎ手	鉄	ゴム			
		作動油タンク	鉄	ゴム			
		油圧フィルタ	鉄	アルミ	紙	ゴム	
作動油	油						

No	主要名称	部品	材料 1	材料 2	材料 3	材料 4	備考
10	その他電気系	コントロールボックス (モーメントリミッタ付)	鉄	樹脂(基板)	ゴム		
		操作装置 (モーメントリミッタ付)	鉄	樹脂(基板)	ゴム		
		各リミットスイッチ	樹脂	アルミ	配線		
		スリップリング	鉄	樹脂	配線		
		ハーネスASSY	配線	樹脂	銅合金(端子)		
11	艀装部品	工具箱	鉄	ゴム			
		サイドガード	鉄				
		ステップ	鉄				
		リアバンパ	鉄	アルミ			
		荷台	鉄				
		輪止め	廃プラ	又はゴム	又は木	又は鉄	
		ジャッキベース	鉄	木	又は廃プラ	又はゴム	
		水準器	樹脂	ガラス			
		水タンク	樹脂	鉄	ゴム	アルミ	
		電動ポンプ	樹脂	鉄	配線	亜鉛	
12	オプション	作業灯	鉄	ガラス	樹脂	配線	
		警告灯(黄色灯)	鉄	ガラス	樹脂	配線	
		バックモニタ	鉄	ガラス	樹脂	配線	注 3

注 1. シーブ本体が樹脂製のものもあります。

注 2. 減速機の油は減速機本体のドレンプラグを外して抜いて下さい。

注 3. バックモニタのディスプレイは、シャシの運手席内に取り付けられています。

改訂歴	改訂日	備	考

穴掘建柱車架装部解体マニュアル  
 SSH00013  
 不許複製  
 編集・発行 株式会社 **アイチ** コーポレーション  
 埼玉県上尾市大字領家字山下1152番地の10